木曽谷模型の平面図作成について

木曾山林資料館

1. はじめに

長野県木曽町福島の御料館で一般公開している明治 13 年に作製された木曽谷模型の基礎資料とするため計測及び写真撮影を行った。

2. 木曽谷模型の平面図と写真

ポケットコンパスとレーザー距離計で、木曽谷模型の外縁及び主要河川の位置を計測して平面図を作成した(図1)。木曽谷模型全景及び各部を撮影し、その撮影位置を平面図に挿入した(図2)。また、木曽谷模型銘板の裏面に書かれている木曽谷模型が展示されるまで経緯を撮影した(写真1)。

計測値 面積 8.7 ㎡ (約 5 畳), 外縁長さ 12.7 m

奈川下流点~恵那山間長さ 4.7m, 御嶽山~木曽駒ケ岳間長さ 2.5m 御嶽山高さ 67cm, 木曽駒ケ岳高さ 51cm, 木曽川下流点高さ 2cm

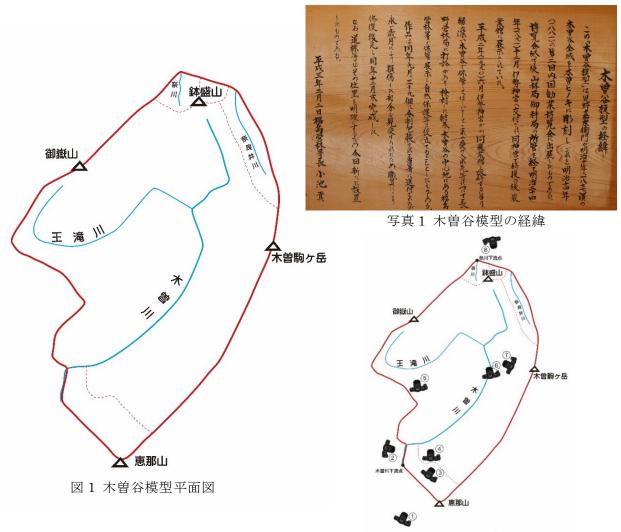
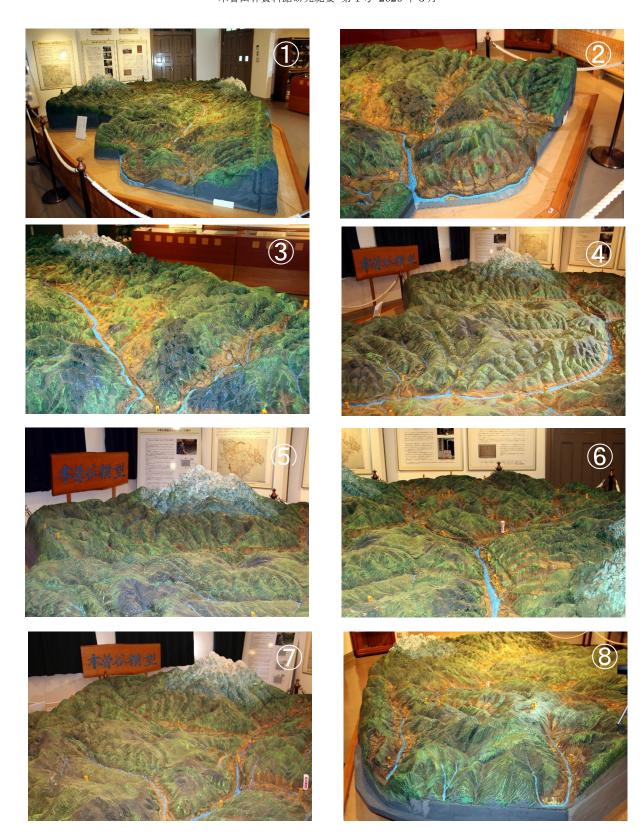


図 2 木曽谷模型の撮影位置



3. おわりに

今回の計測で得られた結果を参考にしながら、今後、この木曽谷模型が作られた背景や、御料館に展示されるようになった経緯、また、模型にかかわった人々の思いについても調査研究していきたいと考えている。